外来種の花

外来種とは、日本に元々はないものだが、外国から何らかの方法で日本に入り分布して行ったもののことを言います。外来種は生命力が強く、なかには日本固有の生物や植物をおびやかす事例が報告されてはいます。旭高原にも外来種の花が多くあります（でも、きれいです…）

セイヨウタンポポ（ヨーロッパ原産）

＊花の下（総苞片）がそり返る

ニホンのタンポポ（ニホン原産）

＊花の下（総苞片）がそり返らない

ハルジオン（北アメリカ原産）

＊花はややﾋﾟﾝｸっぽいのがあり葉は茎を包みこむようにつく

ヒメジオン（北アメリカ原産）

＊花は白が多くつぼみは上向きになる

フランスギク（ヨーロッパ原産）

オオキンケイギク（北アメリカ原産）

ブタナ（ヨーロッパ原産）

ニワゼキショウ（北アメリカ原産）

アカツメグサ（ヨーロッパ原産）

＊花の下に葉がついてる

シロツメグサ（ヨーロッパ原産）

＊茎が地面をはっている